

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	株式会社上信観光バス	前橋駅～京目～高崎駅の運行 車輦減価償却費等国庫補助適用	高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 ICカード導入や感染防止対策を計画して、国や県の補助金申請をして内示を頂き、実行する準備をしている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):95,551人	各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を行う。 また、前橋駅～高崎駅線統合によって、輸送人員が増加したので乗降調査を参考にして、ダイヤ改正を実施したいと考える。 国や県の補助金を利用した感染症拡大防止対策のための設備導入や交通系ICカードを導入したので、コロナ禍における感染防止対策を継続して行う。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
					輸送人員(実績):120,051人			
					前橋駅～高崎駅線統合によって輸送人員が増加した。			
	関越交通株式会社	高崎駅～イオンモール高崎前・群馬温泉～渋川駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市、渋川市、吉岡町の沿線住民に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):170,104人 輸送人員(実績):183,387人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が徐々に戻りつつあり、目標は達成された。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・金額式IC定期券やスマホ定期券などキャッシュレスサービスの推進 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・貨客混載事業等の様々な利用促進策を実施するなど、収益改善に向けた取組は評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
関越交通株式会社	高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	・高崎市、渋川市、吉岡町の沿線住民に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):89,481人 輸送人員(実績):102,932人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が徐々に戻りつつあり、目標は達成された。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・金額式IC定期券やスマホ定期券などキャッシュレスサービスの推進 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施			
関越交通株式会社	けやきウォーク前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行	・前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢に時刻表を配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	輸送人員(目標):83,557人 輸送人員(実績):87,429人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が徐々に戻りつつあり、目標は達成された。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・金額式IC定期券やスマホ定期券(導入検討)などキャッシュレスサービスの推進 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	関越交通株式会社	沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行	・沼田市、利根郡みなかみ町、片品村、沼田市内の自動車教習所および群大病院内売店へ時刻表配布 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):12,627人 輸送人員(実績):11,440人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が未だ戻りきってはいないことから目標未達となった。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施		
	関越交通株式会社	沼田保健福祉センター前～沼田駅～後閑駅～上毛高原駅～たくみの里～猿ヶ京の運行	・沼田市、利根郡みなかみ町、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):58,110人 輸送人員(実績):70,519人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が徐々に戻りつつあり、目標は達成された。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・スマホ定期券(導入検討)などキャッシュレスサービスの推進 ・新たな敬老割引サービスの導入 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施		
	関越交通株式会社	沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行	・沼田市、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 輸送人員(目標):61,412人 輸送人員(実績):60,701人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が未だ戻りきってはいないことから目標未達となった。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・スマホ定期券(導入検討)などキャッシュレスサービスの推進 ・新たな敬老割引サービスの導入 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施		
	関越交通株式会社	沼田駅～鎌田の運行	・沼田市、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):30,330人 輸送人員(実績):22,970人 新型コロナウイルス感染症で減った旅客が未だ戻りきってはいないことから目標未達となった。	・引き続き沿線住民向けに時刻表配布を行い、路線の周知に努める ・スマホ定期券(導入検討)などキャッシュレスサービスの推進 ・新たな敬老割引サービスの導入 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PRを継続実施		
	株式会社群馬バス	高崎駅～里見～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。 利用者アンケートは新型コロナウイルスの変異株の影響により実施は見送った。また、ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):102,609人 輸送人員(実績):83,867人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により目標に達しなかった。	依然として、変異株の感染者拡大の波が断続的に押し寄せる状況下ではあるが、感染予防のPR活動に努める。また、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。 R4年3月からIC機器を導入しているため、引き続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。 特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	株式会社群馬バス	高崎駅～本郷～榛名湖の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、フリーバスを販売し利用客の利便性を図った。また、ICカード導入が完了し、通勤通学、観光客の利便性向上につながった。	A 冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):101,478人 輸送人員(実績):121,526人 輸送人員は、学校の通常授業再開や観光客の微増の影響により、目標に達した。	依然として、変異株の感染者拡大の波が断続的に押し寄せる状況下ではあるが、感染予防のPR活動に努める。また、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。R4年3月からIC機器を導入しているため、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。	用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	株式会社群馬バス	高崎駅～上郊～榛東村役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、沿線施設である相馬原自衛隊の隊員の利用も好調である。また、ICカード導入が完了し通勤通学、帰省への利便性向上につながった。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):32,621人 輸送人員(実績):35,061人 輸送人員は、学校の通常授業再開、帰省の意識の変化の影響により、目標に達した。	引続き、沿線住民は勿論のこと、相馬原自衛隊の若い隊員向けに継続的に時刻表を配布する。R4年3月からIC機器を導入しているため、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続するフリーバスを販売し利用客の利便性を図った。また、ICカード導入が完了し利便性向上につながった。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):53,968人 輸送人員(実績):50,974人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により目標に達しなかったが、前年度に比べては利用増になった。	引続き、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることをアピールしていきたい。また、利用客の利便性の向上を図るべくフリーバスをアピールする。ICカード導入が完了し、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	引続き、南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よしいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また、2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物足として重要な役割を現在も果たしている。また、ICカード導入に向けて準備を実施。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):68,584人 輸送人員(実績):57,291人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により、目標に達しなかったが、前年度に比べては利用増になった。	当系統は南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。高齢者の買い物足としての役割が強く、また沿線には東京農大二高があり、雨の日は生徒の足と多様な役割りを担っている。引続き高崎市と協力してアピールしていきたい。R4年3月からIC機器を導入が完了したため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～里見・室田～権田の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):89,810人 輸送人員(実績):52,049人 輸送人員は、今年度の学生通学の微減の影響により、目標に達しなかった。引続き通学利用促進に力を入れる。	依然として、変異株の感染者拡大の波が断続的に押し寄せる状況下ではあるが、感染予防のPR活動に努める。また、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。R4年3月からIC機器を導入しているため、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。		
	株式会社群馬バス	高崎駅～本郷～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):118,875人 輸送人員(実績):92,487人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により目標に達しなかったが、前年度に比べては利用増になった。	依然として、変異株の感染者拡大の波が断続的に押し寄せる状況下ではあるが、感染予防のPR活動に努める。また、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。R4年3月からIC機器を導入しているため、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における	備考
							二次評価結果	
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	株式会社群馬バス	高崎駅～浜川～箕郷営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。 ICカード導入が完了し好評を得ている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 輸送人員(目標):153,091人 輸送人員(実績):128,081人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により目標に達しなかったが、前年度に比べては利用増になった。	依然として、変異株の感染者拡大の波が断続的に押し寄せる状況下ではあるが、感染予防のPR活動に努める。また、沿線圏に時刻表を配布し、適切な運行を行う。 R4年3月からIC機器を導入しているため、引続き、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。		
	群馬中央バス株式会社	前橋駅～芝塚～高崎駅の運行	・ICカードの導入により利用者の利便性向上が促進された。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策としてバス車内に光触媒抗菌抗ウイルス加工を実施した。 ・オープンデータの自社整備により情報発信を行った。 ・バスロケーションシステムの継続により運行状況の配信を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):93,734人 1%の収支改善目標として年間1,600人増を目標 輸送人員(実績):106,947人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う。 ・バス車両の新型コロナウイルス感染症防止対策について、安全性をPRしていく。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見て、路線沿線施設に時刻表等の資料を配布する(再開)。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
	群馬中央バス株式会社	高崎駅～上滝・玉村～県立女子大学の運行	・ICカードの導入により利用者の利便性向上が促進された。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策としてバス車内に光触媒抗菌抗ウイルス加工を実施した。 ・小学生及び高齢者に対して、バスの乗り方教室を実施した。 ・オープンデータの自社整備により情報発信を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):32,863人 1%の収支改善目標として年間500人増を目標 輸送人員(実績):40,332人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できた。	・ICカードの利用拡大に向けて路線沿線施設にPRを行う。 ・バス車両の新型コロナウイルス感染症防止対策について、安全性をPRしていく。 ・オープンデータの自社整備及び情報発信を行う(継続)。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見て、路線沿線施設に時刻表等の資料を配布する。 ・県立女子大学と協議し、学生の利用しやすい時間帯等の変更を随時行う。		
	永井運輸株式会社	前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 下川湖公民館及びベイシアみなみモールへ配布時刻表を各50枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 引き続き「前橋工科大21回数券」を作成し発売を行った。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 沿線の病院と「バスの乗り方及びバリアフリー体験」を実施、バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症対策を継続実施。 Twitterでの運行情報送信を継続実施。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実になり、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 輸送人員(目標):48,000人 輸送人員(実績):59,408人 輸送人員は上記の通りであり目標を達成したが、令和3年度感染症禍で減少した利用実態を踏まえた目標設定によるものである。	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 引き続き、「前橋工科大21回数券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やTwitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 引き続き感染症対策を実施。国補助金での車内の抗菌コート加工や車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考	
							評価結果		
群馬県生活交通対策協議会	永井運輸株式会社	玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	列車接続に対応していたタイヤであったため、タイヤ調整は実施しなかった。 玉村町役場へ配布時刻表を100枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 引き続き「前橋工科大21回効券」を作成し発売を行った。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの継続実施。 旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置中。 群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を玉村南小学校で実施した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症対策を継続実施。 Twitterでの運行情報送信を継続実施。 地域連携ICカード「nolbé」導入により、旅客からの運賃収受が確実に、乗務員の運賃取扱いが省力化できた。また系統別利用実態の集計が迅速にでき、デジタイゼーションが確立できた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):24,000人	駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じタイヤ調整を行う。沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やTwitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 引き続き感染症対策を実施。国補助金での車内の抗菌コート加工や車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 地域連携ICカード「nolbé」導入で、乗降データの可視化やデータ活用を行いたい。		
						輸送人員(実績):39,629人			
						輸送人員は上記の通りであり目標を達成したが、令和3年度感染症禍で減少した利用実態を踏まえた目標設定によるものである。			
日本中央バス株式会社	前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 コロナの感染対策についてもオゾン散布・換気・アルコール消毒などを行い、周知を図っている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 令和4年3月よりICカード導入し利便性向上を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):43,248人	ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 また、富士見地区のデマンドバスとの組み合わせを見据えた運行についての最適化について検討を図る。 引き続き、利用者の増加に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市と共に検討を行い、実行可能なものから実行する。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・ICカードシステムの導入などの利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。		
					輸送人員(実績):54,075人				
					新型コロナウイルスの影響緩和により、外出機会等の増加があり、利用者が目標よりも増加した。				
日本中央バス株式会社	前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行 車両減価償却費等国庫補助適用	路線開設当初よりしんどう温泉・榛東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 コロナの感染対策についてもオゾン散布・換気・アルコール消毒などを行い、周知を図っている。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 令和4年3月よりICカード導入し利便性向上を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A	輸送人員(目標):50,518人	前橋都心部において、独占禁止法上の例外措置による共同経営を行い利便性の向上を図ったので、利用者への周知を図ってゆく。また、ICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 引き続き、利用者の増加に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市・榛東村と検討を行い、実行可能なものから実行する。			
					輸送人員(実績):65,573人				
					新型コロナウイルスの影響緩和により、外出機会等の増加があり、利用者が目標よりも増加した。				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
群馬県生活交通対策協議会	朝日自動車株式会社	[起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 小島南・沖電気前 [終点] 神泉総合支所	①令和3年9月～10月と令和4年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②沿線施設との企画乗車券導入に向けての協議は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し見送った。 ③高齢者定期券導入については継続して検討中。	B 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が計画に位置づけられたとおり実施することができなかった。	A 輸送人員目標132,948人に対して実績は140,459人となり目標達成となった。 達成理由として、新型コロナウイルス感染症により減少していた利用者が回復基調であると考えられる。	・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 ・沿線施設との企画乗車券を導入し観光需要を取込む。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・「企画乗車券」や「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの利活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
第三者委員会における各委員からの意見								
<p>令和4年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○お出かけの様式の変化について、新しい行動パターンに対応する交通システムについても、今後積極的に仕掛けることが重要。</p> <p>○ポイントは、「データ」や「デジタル化」であるが、デジタル化するだけで課題や問題点が解決するわけではないため、都県や市町村との日常的なコミュニケーションや議論が重要。</p>								